



✦TAC!!公式アカウント 登録者 1,000名突破✦

T A Cの情報発信力強化を目的に2020年6月に開設した当アカウントは、2/26(金)をもちまして登録者1,000名を突破いたしました！引き続きT A Cの皆様の役に立つ情報を配信していきますので今後ともよろしくお願いいたします。

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■ J A 埼玉県担い手サポートセンター 「令和3年度第2回 J A 営農担当者研修会及び取扱品目(肥料・農薬)研修会」を開催(5/13) NEW

J A 埼玉県担い手サポートセンターは5月13日(木)、「令和3年度第2回 J A 営農担当者研修会及び取扱品目(肥料・農薬)研修会」を鴻巣市の県種苗センターで検温・換気・手指消毒等コロナ対策を徹底しながら開催しました。

今回の研修会は、J A 自己改革の一環として専門的かつ高度な知識水準を持つ営農指導員の人材育成を目的にした「新たなキャリア・スキルアップ研修」の階層別研修会(初任者)の一環と位置付けられています。新任のT A Cや営農指導員等64名が参加し、肥料・農薬の特徴や利点などの基礎知識について学び、理解を深めました。

参加したJ AのT A Cからは「今年4月から担当になったので知識も慣れてないことが多い。基礎的な講義で解りやすかったので研修を現場に活かしていきたい。」といった意欲的な声が聞こえました。



■全農本所GAP推進課 第2回GH(グリーンハーベスター農場評価制度) 評価員養成講習のご案内 NEW

全農本所耕種総合対策部GAP推進課はJ Aグループ職員を対象に「GH(グリーンハーベスター農場評価制度) 評価員養成講習」を開催します。GH評価はGAPの取り組み状況を点数で評価する農林水産省認定制度で、講習では評価方法と生産者にフィードバックす

■全農本所スマート農業推進課 第1回Z-GIS・ザルビオWEBミーティング開催のご案内(5/28) NEW

全農本所スマート農業推進課は5月28日(金)、Z-GIS・ザルビオのユーザー向けに「第1回Z-GIS・ザルビオWEBミーティング」を開催します。Z-GISに新たに連携した栽培管理支援システムザルビオフィールドマネージャー®の説明と使い方を中心に、Z-GISの機能についてZOOM配信にてご紹介します。なお、Z-GIS・ザルビオのユーザー以外の方はYouTubeライブでご視聴いただけます。皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日時：5月28日(金) 16:00~17:10

2. 配信方法：

(1) Z-GIS・ザルビオのユーザー：ZOOM

(上限100人、ミーティング中の質問可)

※申込み多数の場合は抽選とし当選しなかった方はYouTubeライブでご視聴願います。

(2) Z-GIS・ザルビオのユーザー以外、ZOOM参加に当選しなかった方：

YouTubeライブ(限定配信、人数上限なし、ミーティング中の質問不可、後日視聴可)

※YouTubeライブのアドレスは、お申込みいただいたメールアドレスに前日までにご連絡します。

3. 申込先：お申し込みはこちらから。



※お申込内容は本所、都府県本部で共有します。

※申込期限：5月27日(木) 17:00

4. 問合せ先：

全農本所スマート農業推進課(担当：大武)

E-MAIL：zz_zk_smart@zennoh.or.jp

電話：03-6271-8274

全農本所T A C推進課(担当：大橋)

E-MAIL：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

電話：03-6271-8276

る技術を学びます。評価を実践することで生産者の課題を明らかにし、共に解決を図ることが出来るためTAC活動のレベルアップにもつながります。

講習は基礎講習会（3日間）と実践講習会（2日間）があり、基礎講習会ではGAPの基礎からGH評価制度の内容までを習得し、GH評価員補の資格が得られます。実践講習会では実際に評価を行い、実践力を身に付けます。最終日に試験に合格するとGH評価員の資格が得られます。

受講希望の方は下記の募集要項を確認のうえ、本所耕種総合対策部GAP推進課までお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしています。

【第2回GH評価員養成講習日程】

・基礎講習会：令和3年6月14日～16日
(WEB)

・実践講習会：令和3年6月24日～25日
(全農 営農・技術センター)

○第2回GH基礎講習会募集要項は[こちら](#)から

○第2回GH実践講習会募集要項は[こちら](#)から

○受講申込書は[こちら](#)から(申込期日:6月4日)

○お申込・お問合せ先：

本所耕種総合対策部GAP推進課
zz_zk_gapsuisinka@zennoh.or.jp

■全農栃木県本部 営農・経済担当者人材育成研修会～出向く活動強化研修会～の開催(4/27)

全農栃木県本部は4月27日、栃木県JAビルにて営農・経済担当者人材育成研修会～出向く活動強化研修会～を開催しました。

研修会はWEB形式による講義を導入し、JA栃木中央会より水田農業(米)をめぐる情勢及び食の安全、安心対策について、農林中央金庫より農業近代化資金及び農業次世代人材投資事業について、全農本所TAC推進課よりTAC活動及びTAC事業承継支援について、と各連で取組む担い手対応に関する情報提供と講義がありました。

出席者の「積極的に参加してレベルアップしていきたい。」との目標のもと、有意義な研修会になりました。今後も各連と連携した研修会の開催を通じて営農・経済担当者のレベルアップに取り組んでいきます。

■全農本所スマート農業推進課 Z-GISの新しい利用法～北海道の事例～

北海道ではJAを中心に航空写真をもとにした圃場のポリゴンデータや、GPSロガーを使った圃場の栽培品目データを活用したスマート農業が進んでいます。しかし、システムのほとんどがJA専用であり個々の農家はそのデータを活用できる状態ではありません。そこで、データ活用を進めるため、いくつものJAがZ-GISの導入を進めています。

あるJAでは、圃場を利用する生産品目が酪畜向けの飼料作物(デントコーン・牧草)のみで、TMR(混合飼料)センターやコントラクター(酪畜の規模拡大に対応するため草地管理・飼料収穫などの作業を専任でおこなう仕組み。これにより農家は飼育に専任できる。)の利用が進んでいます。JAがコントラクターを組織し作業指示も行います。その際、農家の圃場管理のため航空写真からポリゴンを起こし活用していますが現在

5. その他:WEBミーティングで回答して欲しいZ-GIS、ザルビオに関するご質問は[こちら](#)まで。



■【ご案内】日本農業経営大学校 学校説明会の開催(6/26) NEW

日本農業経営大学校は6月26日(土)に学校説明会を東京品川で実施します。会場よりオンライン同時中継も予定しており、さらに7月17日(土)は名古屋と福岡、7月18日(日)に大阪と熊本でも出張説明会を実施します。また、オンラインでの学校説明会および個別相談会も随時開催しています。

同校は全農、全中も支援する農業経営を2年間の独自のカリキュラムにて専門的に行う教育機関で、会員とのネットワーク構築も同校ならではのものがあります。お問合せ、お申込みは日本農業経営大学校教務部までお願いします。

日本農業経営大学校については[こちら](#)から

○お問合せ先：日本農業経営大学校(教務部)

TEL：03-5781-3751

■JA埼玉県担い手サポートセンター「令和3年度TAC初任者研修会」を開催(4/22～4/23)

JA埼玉県担い手サポートセンターは、4月22日～23日、「令和3年度TAC初任者研修会」を埼玉県民活動センターにおいて開催しました。

本研修会は新任TAC担当者を対象に、TAC活動の意義や基本的な業務内容、TACシステムの概要と基本操作方法等、今後TACとして活動するための基礎知識習得を目的に毎年開催しています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大対策を講じながらの開催となりましたが、26名の新任TACが参加し熱心に受講しました。

今回の研修成果を生かしたTAC活動の発展が期待されます。

■全農本所労働力支援対策室 農水省事業のご紹介(2事業)

1. 農業人材力強化総合支援事業のうち新規就農者確保推進事業のうち農業人材確保・就農サポート体制確立支援(農業労働力確保支援タイプ)

公募期間	令和3年5月11日(火) ～5月31日(月) ※12:00 必着
事業内容	産地における労働力不足に対応するため、地域の関係機関が連携して、他産業等との労働調整による通年での就業機会の確保、農作業研修の充

は印刷して指示するだけです。そこでZ-GISを導入してスマートデバイスでコントラクターに指示（刈る作業・刻む作業・場所の確認など）するなど効率化を進めようとしています。

水稻・畑作圃場での利用が多いZ-GISですが、北海道では草地管理でもZ-GISの利用が始まっています。

■全農本所TAC推進課 令和3年度 県域TAC研修会（入門編）を開催（4/28）

全農本所TAC推進課は4月28日、Webexにて令和3年度 県域TAC研修会（入門編）を開催し約100名が参加しました。

本所TAC推進課より「TACの活動・意義等の基本事項」、「県域TACの役割」、「出向く活動強化運動について」、「TACシステムやDr. Sumの概要」、「動画コンテンツ、広報媒体」について説明をし、また、愛媛県本部営農食糧部 営農支援課の吉井氏より「県域TACの活動事例」について講演いただき県域TAC活動のイメージを共有した他、愛媛県の取組事例を紹介いただきました。

講演内容の動画は近日中にYouTubeで限定配信します。URLは後日ご案内しますので当日参加できなかった県域TACの方も是非ご覧ください。

■お知らせ

【Z-GIS情報 No. 22】

○Z-GIS・ザルビオWEBミーティングを年間6回開催します！

！7月回の日程を変更しました。

TACシステムの「知恵箱」-「15. TAC広報」 「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

【残留検だより No. 9】

○新室長からのご挨拶

○残留基準値改正のお知らせ

などなど・・・

TACシステムの「知恵箱」-「05. 農薬」に投稿済

【JA職員のための農業法人支援ハンドブックの紹介】

JAグループ中小企業診断士会よりJA農業経営コンサルティングに取組む職員向けの農業法人支援ハンドブックが発刊されました。JA職員のレベルアップを目的に農業経営の基本事項や法人支援に役立つJAグループの各種商品が紹介されています。本書の発刊を機に、農業法人に出向いてコンサルティングを実践するJAグループの職員が1人でも増えていくことが期待されています。是非ご一読ください。

[立ち読みはこちら](#)
[購入サイト](#)

実等により、多様な人材が、多様な働き方で地域農業の働き手として活躍できる労働環境整備の取組を支援する。

※詳細は[こちら](#)から

2. 農業労働力確保緊急支援事業のうち女性の活躍推進対策

公募期間	令和3年4月30日(金) ～5月28日(金) ※12:00 必着
事業内容	女性農業者の居場所となり農業・農村への定着につながるグループ活動や、女性農業者が働きやすい環境整備を実施する地域取組主体に対する支援を行うことにより、女性を農業・農村へ呼び込み、定着してもらうことで、将来の農業生産を支える人材を育成する。

※詳細は[こちら](#)から

■各媒体でTAC関連の記事が掲載されました

【日本農業新聞】

○ウンカ対策 早期発見・防除の徹底を (5/18) [NEW](#)

○埼玉のJA新任TAC 農薬・肥料学ぶ (5/15) [NEW](#)

○日々の気付き逃さず 有機・GAPの匠たち (5/15) [NEW](#)

○ASIA GAP団体認証 熊本JAあしきたサラたまちゃん部会 (5/15) [NEW](#)

○農福連携 新しい価値生み出そう (5/14) [NEW](#)

○農福連携でサポート 新規就農者のタマネギ収穫 (5/13) [NEW](#)

○線虫密度7割削減 農工大など枝豆防除確立 (5/13) [NEW](#)

○みどり戦略正式決定 農水省 (5/13) [NEW](#)

○農福連携コーチ育成受講者を募集 農水省 (5/10) [NEW](#)

○農作業安全とJA 農家の意識改革が重要 (5/10) [NEW](#)

【日本農民新聞】

○農協観光と日本農福連携協会が連携協定 (5/5)

【グリーンレポート5月号】

○視点-スマート農業を実現する栽培管理支援システム

○営農アシスト-産地の生産振興をサポート！全農が開催する4つの「栽培技術講習会」

【経営実務4月号】

○岩手県 JAいわて中央 営農販売部 担い手対策課 営農経済相談チーム 監理役 玉山 正彦氏 [NEW](#)

【地上11月号】

○Z-GISでスマート農業の波に乗れ

【全農ウィークリー】

- [vol. 960 \(5/3\)](#)
- [「農福連携マニュアル」制作発表会を開催](#)
- [JR九州の駅ビル商業施設内に「みのる食堂アミュプラザくまもと店」「みのりカフェアミュプラザ博多店」オープン](#)

技術情報（出典：農研機構 HP 普及成果、研究成果より）

17. [圃場におけるダイズ黒根腐病発病リスクの評価およびその対策](#)（農研機構 HP へリンク）

大豆の重要病害であるダイズ黒根腐病と栽培履歴、圃場環境および栽培条件の関係性を明らかにし、大豆作付予定の圃場における発病リスクの評価手順と対策を提示する。

18. [東北地域における春まきタマネギ栽培を安定化する生産技術体系](#)（農研機構 HP へリンク） **NEW**

東北地域における春まきタマネギ栽培に適した品種、施肥基準、播種・定植期、ネギアザミウマや腐敗病被害の低減対策、雑草対策等の要素技術を体系的に活用することで、水田作経営体による大規模なタマネギ生産において5t/10a以上の収量安定が可能となる。

※一覧はTACシステムの「知恵箱」-「14. その他」に投稿済。ファイル名：「[【20200331】農研機構研究成果発信一覧表.xlsx](#)」

事業承継

■「事業承継支援 虎の巻」 皆様の技の提供お待ちしております！

全農本所TAC推進課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様へ「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて全農本所TAC推進課にご連絡ください！

■全農本所TAC推進課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」を発行

全農本所TAC推進課はJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しました。ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

本手引きの内容は12月22日開催の事業承継研修会にて解説しています。研修内容を録画したDVDをご要望の際は県域TAC部署を通じてお問合せください。

手引きは、TACシステム知恵箱 フォルダ 『27. 事業承継』に格納しております。

■全農本所 事業承継啓発チラシ親子別 Ver. を作成

全農本所は、事業承継啓発に係る新たなツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しました。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいものとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは知恵箱「27. 事業承継」に格納していますので是非ご利用ください。

■全農TAC推進課 JA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて事業承継支援をPR

全農TAC推進課はYouTubeチャンネルであるJA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて、事業承継支援の取り組みをPRしました。

以下から動画がご覧になれます。ぜひご覧ください。

[事業承継ブックPR動画](#)

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

全農TAC推進課は2020年7月「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行しました。全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願ひします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

全農本所TAC推進課では、各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行しました。全農HPで公開しています。ぜひ、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いいたします。

全農HPは[こちら](#)

■「JAにおける事業承継の取組手順」発行

全農主催の事業承継プロジェクト会議及び各県域からの意見を踏まえ、「JAにおける事業承継の取組手順」を発行しました。是非各JAでの活用をお願いします。

なお、データはTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■JA広報通信 特集監修

全農本所TAC推進課では、JA広報通信3月号特集「親子で考えよう 農業の事業承継」の監修を行いました。紙面はTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■事業承継啓発チラシの活用を！

各県からの要望に基づき、事業承継啓発チラシを作成しました。「事業承継ブック」とセットでご活用ください。元データは知恵箱「14. その他」に格納しています。年度末に県域TAC部署から全農本所への利用報告とりまとめも依頼しておりますので、各JAのご協力も宜しくをお願いします。

Z-GIS



👏 !! Z-GIS の動画ができました!! 👏

全農本所スマート農業推進室が新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者への導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。
Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■全農本所スマート農業推進室 Z-GIS活用ガイドのご案内

全農スマート農業推進室は「Z-GIS活用ガイド」を作成しました。

「Z-GIS活用ガイド」では、全国6ユーザーの活用方法を紹介しています。水稻に加え、園芸やGAP、へり防除等への応用について紹介しておりますので、ぜひご覧いただき、Z-GISの活用の幅を広げていただければと考えます。

なお、「Z-GIS活用ガイド」はTACシステムの知恵箱（29（1）Z-GIS情報提供資料）にも格納しておりますので、ご利用ください。

■全農TAC推進課 地上11月号に「Z-GISでスマート農業の波に乗れ」を掲載

全農TAC推進課は10月1日（木）発行の地上11月号にZ-GISの広告を掲載しました。Z-GISの概要や新機能の特集、ユーザーの声に加えて、本所スマート農業推進室平野室長による「Z-GISに込めた思い」のインタビューを載せています。こちらは推進資料としても活用できるよう、チラシをイメージして作成しました。知恵箱→「29(1)Z-GIS情報提供資料」にも格納していますのでご活用ください。

■Z-GIS情報について

4月1日付で本所スマート農業推進室より「Z-GIS情報 No. 21」が発行されました。TACシステム知恵箱の「29(1)Z-GIS情報提供資料」に掲載しておりますので、担い手向け訪問ツールとしてご活用ください。

TACシステムの「知恵箱」-「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

農業労働力支援

■全農本所労働力支援対策室 令和2年度第2回九州ブロック労働力支援協議会開催（3/9）

全農本所労働力支援対策室は3月9日、今年2回目の九州ブロック労働力支援協議会をオンラインで開催しました。

始めに来賓挨拶として内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生事務局から地方創生臨時交付金や地方創生関係交付金の概要説明をいただいた後、情勢報告として九州農政局から令和3年度の補助事業等の概要説明、全農から今後の労働力支援の取り組み、全中から農業労働力支援にかかる取組みと県域実態調査結果について説明があり、続いて各県域から県域実態調査の報告やパートナー企業との連携、web・JA職業紹介所の活用事例、農福連携等の現状と課題など労働力支援に関する取り組みが報告されました。

さらに農協観光とJTBの構成団体加入で可決され、来年度の活動案の提案も行われた他、厚生労働省「生活困窮者自立支援制度における農業分野との連携強化モデル事業」の大分県の取り組みについて厚労省、共済総合研究所、A´ワーク創造館から報告がありました。

今後、来年度の活動案の具体化に向けて検討を進めていきます。

■全農本所労働力支援対策室 令和2年度第2回中国四国ブロック労働力支援協議会開催(3/4)

全農本所労働力支援対策室は3月4日(木)、今年2回目の中国四国ブロック労働力支援協議会をオンラインで開催しました。

始めに来賓挨拶として内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生事務局から地方創生臨時交付金や地方創生関係交付金の概要説明をいただいた後、情勢報告として中国四国農政局から農業労働力確保緊急支援事業等の概要説明、全農から今後の労働力支援の取り組み、全中から農業労働力支援にかかる取組みと県域実態調査結果について説明がありました。

続いて各県域から、県域実態調査の報告やパートナー企業との連携、web・JA職業紹介所の活用事例、農福連携等の現状と課題など労働力支援に関する取組みが報告され、意見交換の場を持ちました。

協議会事務局からは農協観光とJTBが構成団体に加入することを諮り賛成多数で可決され、さらに来年度の活動案の提案が行われました。

今後、来年度の活動案の具体化に向けて検討を進めていきます。

相談

※いずれも無料ですので、積極的にご利用ください！！

■担い手対応の経営相談

全農本所では、担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■6次産業化相談

全農本所では、6次産業化中央サポートセンターのご協力を得て、6次産業化、商品開発等に取り組む担い手、JA等へ、専門知識を持つプランナーの派遣を行っています。

派遣を希望される場合は、県域TACと協議の上、相談票を作成し、全農本所TAC推進課まで送付下さい。

(様式は県域TACへお問い合わせ下さい)

人材育成(TACアグリビジネススクール、他各種研修案内等)

■全農本所TAC推進課 令和3年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

内容につきまして詳細が確定いたしましたら後程改めてご案内いたします。

回	日程	時間	テーマ
1	6/2(水)	10:00~15:00	販売強化
2	7/8(木)	10:00~15:00	省力・低コスト資材、技術情報①
3	9/13(月)	13:00~15:00	直近の農業情勢①
4	10/6(水)	13:00~15:00	直近の農業情勢②
5	11/4(木)	10:00~15:00	会計・税務研修①
6	12/1(水)	10:00~15:00	会計・税務研修②
7	1/12(水)	10:00~15:00	会計・税務研修③
8	2/2(水)	13:00~15:00	省力・低コスト資材、技術情報②
9	3/2(水)	13:00~15:00	労働力支援

*会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」の知恵箱掲載について

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」についてTACシステム知恵箱の「80.(1)と(2)」に掲載しました。ご利用ください。

資材貸出

■全国共通資材の貸出

ジャンパー、エプロン、帽子、ポロシャツ、のぼり、テーブルクロス、ハッピーの貸出申請書は、TACシステム知恵箱-「83.TAC資材貸出」に投稿されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

みのりみのるプロジェクト

■「AGRI FUTURE」V.01.95 (JAきみつ 千葉) 発行(1/8)

○フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付

HPは[こちら](#)

○生産者の声

大根／ブロッコリー／かぶ

○地域百景

里山の滝／黒文字楊枝

○クローズアップ

上総掘り

※「AGRI FUTURE」は「みのりみのるマルシェ」と併せて、担い手と一緒に地域ブランド創りに取り組むTACへの支援策として、地域ブランドのストーリー（地域の歴史・文化・自然・生産者の想いなど）を、首都圏やJA管内の生活者に伝える企画として実施しています。

×××××××××× [みのりみのるマルシェ](#) ××××××××××

今後の予定についてはお手数ですが、みのりとみのるHPにてご確認願います。

◆[みのりとみのるHP](#)

※銀座三越&JR大阪駅マルシェの日程表は[こちら](#)

TACシステム関連情報

■TACシステム新規ユーザー様向け：メッセージ受信設定について

平成30年3月26日のTACシステムバージョンアップ以降、新規ユーザー様から「TACシステム登録アドレス宛にお知らせメールが届くようになった。メールを受信しない（または必要なメールは受信する）設定はできないか」というお問い合わせをいただきます。TACシステムの個人設定からメッセージ関連設定を選択することで、受信設定を変更できます。

詳細な手順説明は、TACシステム知恵箱「90.(3)操作マニュアル」に格納しています。

ファイル名：

TACシステムメッセージ関連設定マニュアル(1804作成).pdf

◆◆知恵箱掲載のお知らせ◆◆

★【30.LINE】フォルダ新設しました！！★

【25.連絡】利用登録・待ち状況一覧(20210519)

【29(1)Z-GIS情報提供資料】Z-GIS情報(No22)

【00.(6)2020年度】令和2年度事業承継研修会

【30.LINE】Tac Voice SHOW !!No.1

【JA阿蘇市原TAC】

【05.農業】農業技術情報【水田雑草の見分け方】

【30.LINE】LINEチラシ横Ver.

■ヘルプデスク宛先

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5

リンクスクエア新宿9階

株式会社 全農ビジネスサポート

■TACシステムの利用申請書について

利用申請書（新規、再登録、削除）については、原本はJAで保管し、データもしくは写しをヘルプデスク(ninaite-help@z-bs.co.jp)へ送付ください。

メールにて送信する場合、個人情報保護のため、パスワードでの保護をお願いします。利用規約、安全管理マニュアルについてはTACシステム「知恵箱」-「90.(1)規約・申請書」をご覧ください。

※新任、勤務地変更、解約がある場合は、速やかに申請書類を提出してください。

※特にシステムを利用しなくなる方については、必ず、解約手続を行ってください。

◎詳しくはユーザー申請書記入マニュアル(知恵箱)をご覧ください。

※申請書類は、各県域(県本部・中央会・経済連等)を通して、ヘルプデスクへ送付してください。

■TACシステムへ各種記事媒体の掲載について

知恵箱に記事媒体を引用し投稿する場合には、必ず、事前に発信元に掲載の許可を取ってください(著作権法に抵触します)。

日本農業新聞を引用・掲載する場合は、所定の申請書により各自で許可申請をして下さい(HPのリンクを張ることについては申請不要です)。

管理販売システム部 管理販売グループ
TACシステムヘルプデスク 御中
TEL : 03-3350-1157
Eメール : ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

☆文字化けが発生するケースがある為、画面コピーを貼り付けています。
文字化けが発生する場合は全農本所TAC推進課までご連絡ください。

【 4月 】 月間ランキング

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2021/4/1~2021/4/30)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	1721	29	59.3
2	JA南彩	埼玉	1460	9	162.2
3	JA福井県 福井基幹支店	福井	937	17	55.1
4	JAおおいた	大分	935	17	55.0
5	JAおきなわ	沖縄	933	15	62.2
6	JAさいたま	埼玉	928	12	77.3
7	JA花巻	岩手	899	20	45.0
8	JA北びわこ	滋賀	883	5	176.6
9	JAおちいまぼり	愛媛	806	15	53.7
10	JA岡山	岡山	773	25	30.9

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2021/4/1~2021/4/30)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA北びわこ	滋賀	883	5	176.6
2	JAなす南	栃木	674	4	168.5
3	JA南彩	埼玉	1460	9	162.2
4	JA小松市	石川	717	5	143.4
5	JALレーク伊吹	滋賀	654	5	130.8
6	JAさがえ西村山	山形	615	5	123.0
7	JA京都このくに	京都	355	3	118.3
8	JALしおのや	栃木	589	5	117.8
9	JAよこすか葉山	神奈川	230	2	115.0
10	JAくま	熊本	340	3	113.3

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★5月18日登録までの集計
※5月の月間ランキングは6月9日(水)発行予定の「TAC通信」に掲載予定(6月8日登録までの集計となります)

【 5月3日 ~ 5月9日 】 週間ランキング集計

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2021/5/3~2021/5/9)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	294	24	12.3
2	JALいわみざわ	北海道	155	19	8.2
3	JA北びわこ	滋賀	152	5	30.4
4	JAおおいた	大分	151	16	9.4
5	JAあさひかわ	北海道	124	14	8.9
6	JAさいたま	埼玉	119	10	11.9
7	JA小松市	石川	88	5	17.6
8	JA南彩	埼玉	84	8	10.5
9	JALこしみの	岐阜	81	13	6.2
9	JAおきなわ	沖縄	81	12	6.8

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2021/5/3~2021/5/9)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA北びわこ	滋賀	152	5	30.4
2	JA柏崎	新潟	30	1	30.0
3	JAくま	熊本	80	3	26.7
4	JA埼玉ひびきの	埼玉	19	1	19.0
5	JA京都このくに	京都	56	3	18.7
6	JALまね 出雲地区本部	島根	72	4	18.0
7	JA小松市	石川	88	5	17.6
8	JA京都やましろ	京都	34	2	17.0
9	JAなす南	栃木	63	4	15.8
10	JAたのふじ	群馬	45	3	15.0

【JA】のすべてのランキング(その他業務を除く、訪問ベースで集計)★5月18日登録までの集計
※次号の週間ランキングは5月10日~5月16日分の記録を掲載予定。5月25日登録までの集計となります。

情報提供

■特定生産緑地について 本所施設農住部

2022年(令和4年)に生産緑地全体の8割となる約1万haが指定期限の30年を迎え、市町村等への買取り申し出(宅地化)が可能となり、生産緑地を保有する組合員は①特定生産緑地として指定を継続するか、②指定を解除して宅地化等の活用をするか、の選択が必要となります。

資産管理部署をはじめとした関係部署・団体との部門間連携を図り、担い手への情報提供・意向確認を行っていきましょう。

関連資料「生産緑地指定のすすめ」は、TACシステムの知恵箱(【08.施設】生産緑地指定のすすめ)に格納しております。是非ご活用ください。

最近のニュース

【最新ニュース】

○農業協同組合新聞

●千葉県で農福連携を推進 地域活性化へマイファーム、京葉銀行など4社協定締結 **NEW**

●JA生産農業所得 2940億円増 対話徹底で目標設定へJA自己改革 **NEW**

●「みどり戦略」を決定 2050年有機農業100万haめざすー農水省 **NEW**

●病害虫発生情報 **NEW**

※以下、更新状況のご案内はいたしていません。

【農林水産省】

●農業担い手メールマガジン(不定期配信)

●e-普及だより

●補助事業参加者の公募

○災害情報について

○米穀の農産物検査結果

【全国農業会議所】

<p>○全中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JAグループ（農業） ○全国農業新聞 ●農業経営の継承に関する意識・意向調査結果 ●実証進むスマート農業 ○全農HP ●「Apron（エプロン）webマガジン」5月号を更新しました 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全国農地ナビ 【農機情報】 ◆日本農機工業会 【農作業安全】 ◆＜関連情報＞農作業安全情報センター 【TPP関連】 ◆TPP報道（日本農業新聞） 【JA全青協】 ◆各地域のJA青年部の取組（JA全青協HP）
---	--

※本リンクは、インターネットにある新聞や各情報のうち、TAC推進課が担い手に関する内容を収集して作成しています。

<p>JA全農 耕種総合対策部 TAC推進課 TEL：03-6271-8276 FAX：03-5218-2535 mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp</p>	<p>TACパワーアップ大会 2020「大会宣言」</p> <p>我々TACは、この未曾有の困難を乗り越え、</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、常に担い手に寄り添い、JAグループの総合力を発揮して期待に応えます。 一、地域と農業の魅力を全国に発信し、元気な地域社会づくりに貢献します。 一、TACの力を結集し、環境変化に立ち向かい、農業の未来に挑戦します。
--	--

★毎週水曜日を基本に、定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★